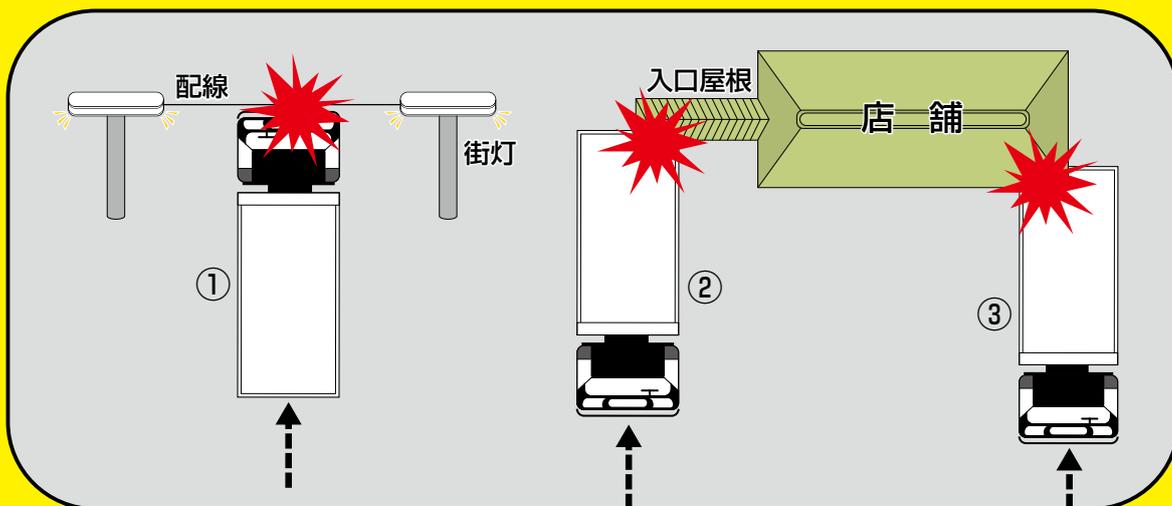


高さを見誤り店舗の屋根等に衝突 ～四交協の受付事故で、約40%強が構内事故!～



どのような事故か…

- ① 構内を移動中、街灯の線に気づかず、トラックの屋根を引っ掛け破損
- ② 後退中、高さの確認を怠り店舗入り口の屋根に衝突
- ③ 荷下ろし場に後退中、高さを見誤り樋に衝突

上記事故は、一例にすぎません。ウイングを上げたまま走行し、天井の設備に衝突したり、構内の高さゲートに衝突したり……様々な状況で事故が発生しています。

原因は……

構内事故での主原因は、『確認不足』が考えられます。路上と違い「危険意識の低下」から安心感が生まれ、確認不足へとつながって行きます。

この事故を防ぐためには…

- ① 構内では徐行が原則です。そして十分に周辺確認を行ってください。また、自車両の高さを十分把握して、地上部だけでなく、建物の屋根などに衝突しないか上部の安全確認をしてください。特に、後退中はバックモニターでも後方上部は見えにくいので注意しましょう。
- ② 荷下ろし後は車高が上がることを忘れず、その都度高さを再確認してください。
- ③ ウイングや後部観音扉を開けたままでの走行は大変危険です。ロック機能や留め具を必ずかけてください。
- ③ 道路上にも、高さ制限のあるトンネルや高さゲートがありますので、標識には十分注意し、通行できるか不明の時は、一時停止し降車の上確認しましょう。

《事故防止上の注意点》

- 上部の安全確認は忘れがちであるだけに、車高の高い車は特に注意が必要です。
- 構内事故となればお客様の施設を破損することとなり、最悪出入り禁止となります。
- 構内は狭い範囲に危険が集まった「危険の百貨店」と認識しましょう。特に、「初めての場所」や「夜間」であればより注意して走行しましょう。
- 到着した安堵感や路上と比較して安心感が生まれ、注意への意識不足が生じやすくなります。「見るべきものを視て」、「確認すべきものを確認」することが大事です。



YONKOKYO

事故事例ニュース

第306号

四国交通共済協同組合
安全対策部

坂出市番の州公園6番6号
(安全対策部直通)
0877-85-7992
電話0877-44-4416代

「地上だけでなく、上方も視て確認」
事故現場 構内事故が第二位